

## 教えて！篠原さん

※仙台市の、5才児が2人いるお母さんからの質問です。「みやぎ脱原発・風の会」代表の篠原弘典さんに聞いてみました。

(Q) 仙台市も放射能で被曝しているのですか？

(A) 福島第一原発の事故によって大量の放射能が放出され、広範囲が汚染されました。勿論仙台市も汚染されています。現在放射能汚染の主役はセシウムという「死の灰」で、これは半分に減るのに30年かかりますから、当分はこの放射能で汚染された状態が続きます。

福島県の福島市や郡山市の汚染レベルは、避難した方が良いレベルですが、大都会の住民を全員避難させるのは難しいので、そのままになっています。

幸い仙台は距離があったので、現在の汚染レベルは大体0.1マイクロシーベルト/hになっています。1人が年間に浴びる放射線量はおよそ0.5ミリシーベルトになるでしょう。100万都市の仙台市民が全員この放射線を浴びますから、集団被曝線量は0.5ミリシーベルト×100万人=500人・シーベルトになります。この線量によって将来発生するガン死者数は年間で25人から200人の間です。

(Q) こどもたちには安全な食品を食べさせたいのですが、肉や魚や野菜はこの物が安全ですか？どこの物を買って、食べさせたらいいのですか？

(A) 広い範囲が汚染されてしまっていて、その放射能が私たちの食物にも取り込まれて口に入り体内から放射線を浴びる事になります。(内部被曝と言います)。こどもたちは大人より放射線に対する感受性が5倍ほど高いですから、こどもたちが食べるものには注意が必要でしょう。

本来なら食品全部の放射能濃度を測って、食品にその数値を添付できれば選ぶ基準になりますがそれは不可能なので、出来るだけ汚染レベルの低い土地の産物を選ぶしかないでしょう。福島原発から遠い所です。こどもたちの食べるものはそうしたいです。

しかし福島県産の肉や魚や野菜だといって皆が拒否すれば、福島県の農民や漁民は生活していけません。福島県産のものの中にも汚染レベルの低いものもあります。食べるか食べないかの判断が私たち一人一人に問われています。あまり神経質になっても、放射線によって傷ついた細胞を直そうとする私たちの体がもつ抵抗力を弱めることになります。

(Q) 日常生活の中で、こどもたちの幼稚園でのプールや園庭での遊びなど、外で活動することは問題ないのでしょうか？気をつけた方がいいことがあったら、教えてください。

(A) 放射能で汚染された状態は長く続きます。外部被曝にしろ内部被曝にしろこどもたちの被曝は出来るだけ押さえなければなりません。しかし神経質になるあまり、こどもたちが外で思いっきり遊ぶ事を無くしてしまえば、こどもたちの体と心の成長が阻害されます。こどもたちの免疫力も衰えます。

幸い仙台市の汚染レベルは福島市や郡山市の汚染レベルに比べれば低いですから、放射線量に注意しながらこどもたちの成長を見守りたいと思います。

宮城県のどの場所が汚染レベルが高いのか、汚染マップがあれば、何処にはこどもたちを連れて行かないようにしようという判断が出来るのですが、現在宮城県の汚染マップはありません。宮城県や仙台市にその地図を作ってほしいと言う事も大事だと思います。プールや園庭でこどもを遊ばせる時には、幼稚園や保育所にその場所の放射線量を測ってもらうことも大切です。公園や野山でこどもたちを遊ばせる時に、土埃がひどい時には、こどもが嫌がらなければ、マスクをさせるのも必要かと思います。